

**第2期 仙台市交通局バリアフリー特定事業計画
(前期：平成24年度～平成27年度)に基づく取り組み状況について**

1 地下鉄事業

(1) 南北線

① 駅施設・設備整備

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
階段	段差の明瞭化を全段に拡充	4 駅 (勾当台公園駅・仙台駅・長町一丁目駅・長町南駅)	4 駅 (勾当台公園駅・仙台駅・長町一丁目駅・長町南駅)
エレベーター	ホーム～コンコース間にエレベーターを増設	1 駅 (仙台駅)	1 駅 (仙台駅)
	増設する出入口にエレベーターを設置	1 駅 (長町一丁目駅)	1 駅 (長町一丁目駅)
エスカレーター	ホーム～コンコース間の階段に下りエスカレーターを増設	1 駅 (仙台駅) ※その他の駅への増設については調査・検討中	4 駅 (泉中央駅・勾当台公園駅・仙台駅・長町一丁目駅)
	増設する出入口に上り及び下りエスカレーターを設置	1 駅 (長町一丁目駅)	1 駅 (長町一丁目駅)
休憩設備	ホーム両端の休憩用いすを肘・荷物台付のいすに改良 (写真①)	全17駅	全17駅
改札口	拡幅改札口(自動改札機)を設置 (写真②)	15 駅 (設置済の広瀬通駅・長町南駅を除く)	15 駅 (設置済の広瀬通駅・長町南駅を除く)
事業費		1,261百万円	1,250百万円

※ 仙台駅・長町一丁目駅出入口以外のエスカレーター増設については、調査・検討に係る経費を含む。



写真① 休憩用いす



写真② 拡幅改札口

② 誘導・案内設備整備

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
触知案内図	出入口, 改札口, トイレ出入口付近に触知案内図を設置 (写真③)	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・仙台駅・五橋駅・長町一丁目駅・長町駅・長町南駅)	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・仙台駅・五橋駅・長町一丁目駅・長町駅・長町南駅)
音声案内設備	出入口, トイレ出入口, エレベーター乗降口に音声案内設備を設置	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・仙台駅・五橋駅・長町一丁目駅・長町駅・長町南駅)	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・仙台駅・五橋駅・長町一丁目駅・長町駅・長町南駅)

音響案内設備	触知案内図、改札口に音響案内設備を設置	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・ 仙台駅・五橋駅・長町一丁目 駅・長町駅・長町南駅)	7 駅 (北四番丁駅・勾当台公園駅・ 仙台駅・五橋駅・長町一丁目 駅・長町駅・長町南駅)
案内サイン	各駅に識別番号を付番（ナンバリング）し、 駅名標や路線図等に表示	全17駅	全17駅
	改札口前等の主要なサインの日本語、英語、中 国語、韓国語での表記等	※推進委員会において 検討のうえ実施箇所等 を決定	全17駅 一部のサインについて は5 駅
標識	移動円滑化のための主要な設備（エレベーター等）の付近に標識を設置（写真④）	16 駅 (設置済の富沢駅を除く)	全17 駅
視覚障害者誘導用ブロック	視覚障害者誘導用ブロックを改修し、拡幅改札口（自動改札機）へ誘導	全17 駅	全17 駅
エスカレーター進入可否表示	エスカレーターの増設や更新の際に進入の可否を表示するポール式案内装置を設置し、併せて人感センサーを導入（写真⑤）	6 駅 (八乙女駅・黒松駅・旭ヶ丘 駅・勾当台公園駅・仙台駅・ 長町一丁目駅)	7 駅 (泉中央駅・八乙女駅・黒松 駅・旭ヶ丘駅・勾当台公園駅・ 仙台駅・長町一丁目駅)
事業費		167百万円（※1）	170百万円

※1 案内サインについては、実施箇所等を今後決定するため整備費用は計上していない。



写真③ 触知案内図



写真④ 標識



写真⑤ ポール式案内装置

③ 車両設備整備

項目	事業内容	計画編成数	実施編成数
手すり	ロングシート中間部へ縦手すり 1 本を設置 (写真⑥)	10編成 (40両)	10編成 (40両) (全21編成設置済)

車いすスペース	車いすスペースを設置 (写真⑦)	2編成 (4両)	2編成 (4両) (全21編成設置済)
	車いすスペースに非常通報器を設置 (写真⑦)	10編成 (20両)	10編成 (20両) (全21編成設置済)
案内・表示	車内案内表示装置を設置 (写真⑧)	2編成 (8両)	2編成 (8両) (全21編成設置済)
事業費		71百万円	67百万円



写真⑥ 縦手すり



写真⑦ 車いすスペース・非常通報器

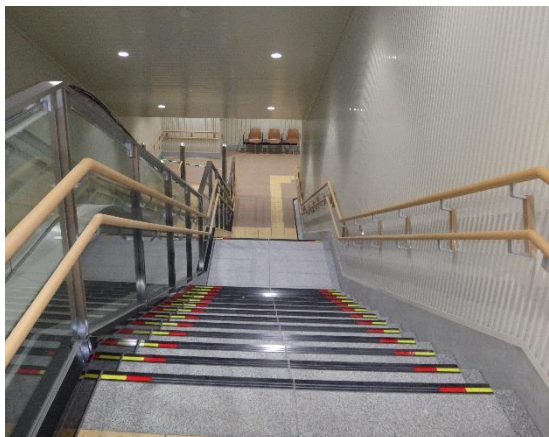


写真⑧ 車内案内表示装置

(2) 東西線

① 駅施設・設備整備

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
階段	段差の全段明瞭化 (写真⑨)	全駅	計画通り全13駅実施
	2段手すりの設置 (写真⑨)	全駅	
エレベーター	出入口にエレベーターを設置	全駅 (宮城野通駅北1・2出入口を除く)	
エスカレーター	「出入口～コンコース間」及び「コンコース～ホーム間」に上り及び下りエスカレーターを設置	全駅	
休憩設備	ホーム及びコンコースに休憩用いすを設置	全駅	
改札口	すべての自動改札機を拡幅改札口として設置	全駅	
一般トイレ	男女それぞれの各ブースに手すり, ベビーチェアを設置 (写真⑩, ⑪)	全駅	
多機能トイレ	多機能トイレを各駅に複数設置 (写真⑫) オストメイト対応洗浄器具を設置	全駅	
可動式ホーム柵	ホームに可動式ホーム柵を設置 (写真⑬)	全駅	



写真⑨ 階段段差の明瞭化・2段手すり



写真⑩ ブース内手すり



写真⑪ ベビーチェア



写真⑫ 多機能トイレ



写真⑬ 可動式ホーム柵

② 誘導・案内設備整備

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
触知案内図	出入口, 改札口, トイレ出入口付近に触知案内図を設置	全駅	計画通り全13駅実施
音声案内設備	出入口, トイレ出入口, エレベーター乗降口, エスカレーター乗り口に音声案内設備を設置	全駅	
音響案内設備	触知案内図, 改札口に音響案内設備を設置	全駅	
可変式情報表示装置	改札口, ホームに可変式情報表示装置を設置 (写真⑭)	全駅	
案内サイン	各駅に識別番号を付番(ナンバリング)し, 駅名標や路線図等に表示	全駅	
	改札口前等の主要なサインの日本語, 英語, 中国語, 韓国語での表記等	全駅	
標識	移動円滑化のための主要な設備の付近に標識を設置	全駅	
エスカレーター進入可否表示	エスカレーターに進入の可否を表示するポール式案内装置を設置し, 併せて人感センサーを導入	全駅	



写真⑭ 可変式情報表示装置

③ 車両設備整備

項目	事業内容	計画車両数	実施車両数
乗降口	乗降口端部床面の識別化	全車両	計画通り全車両実施 (15編成60両)
	聴覚障害者用ドア開閉動作開始ランプの設置	全車両	
優先席	乗降口の近くに優先席を設置 (写真⑮)	全車両	
手すり	ロングシートの中央部などに縦手すりを設置	全車両	
車いすスペース	車いすスペースを各車両1ヶ所設置 (写真⑯)	全車両	
	車いすスペースに2段横手すりを設置 (写真⑯)	全車両	
	車いすスペースに非常通報器を設置 (写真⑯)	全車両	
案内・表示	液晶の車内案内表示装置を設置 (写真⑰)	全車両	



写真⑮ 優先席



写真⑯ 車いすスペース・2段横手すり
非常通報器



写真⑰ 車内案内表示装置

2 バス事業

(1) バス停留所設備整備

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
バス停留所	乗車人数、夜間の運行便数等を勘案して電照式標識を設置 (写真⑱)	14箇所	25箇所
	乗車人数、歩道の幅等を勘案して上屋・ベンチを設置 (写真⑲)	48箇所	46箇所
事業費		31百万円	38百万円

(2) 車両設備整備

項目	事業内容	計画台数	実施台数
バス車両	ノンステップバスを導入 (写真⑳)	108台	118台
事業費		2,364百万円	1,970百万円

(3) バスロケーションシステム

項目	事業内容	計画箇所数	実施箇所数
バスロケーションシステム更新		—	一式
事業費		—	198百万円

※ 一部平成28年度実施



写真⑩ 電照式標識



写真⑨ 上屋・ベンチ



写真⑳ ノンステップバス

3 心のバリアフリー化推進事業

(1) 職員へのバリアフリー教育

事業期間中の実施予定内容	事業期間中の実施内容
<p>市民の皆様にご快適にご利用いただくための接遇や高齢者・障害のある方などの移動に際してお手伝いできる知識や技術を身につけるため、接遇研修や介助研修、知的障害や精神障害のある方への対応研修等に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者擬似体験，車いす介助研修の実施 ・普通救命講習受講 ・認知症サポート講座受講 ・サービス介助士養成研修受講 ・民間企業（デパート・ホテル）体験研修受講 ・外部講師による接遇研修の実施など

(2) バリアフリーマナーアップの啓発

事業期間中の実施予定内容	事業期間中の実施内容
<p>バリアフリーの推進には、施設・設備の整備や職員のサポートに加え、高齢者や障害のある方などの移動制約に対する市民の皆様のご理解とご協力が不可欠なため、以下のような公共交通機関を利用する際のマナーについて車内放送やポスター掲示等で継続的に啓発活動を行うほか、マナーアップキャンペーンやバリアフリー教室を実施するなど、マナーアップ運動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先席の利用マナー ・携帯電話利用マナー ・エレベーター，エスカレーター利用マナー ・乗降マナー ・身体障害者補助犬の乗車に関するご理解 ・マタニティマーク，ハートプラスマーク等，優先席付近に掲示している各種のマークに関する理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・車内自動マナー放送の活用のほか，日常の指導計画や年間放送実施計画の中で，肉声による車内・構内放送の実施や駅情報表示器等を活用した各種マナー啓発を実施 ・主要バス停におけるマナーアップキャンペーンの実施 ・各種ポスター，ステッカーを掲出し，バリアフリー意識の継続的な啓発を行ったほか，心のバリアフリーをテーマとした啓発キャンペーンを実施 ・リュックマナー啓発用新規ポスターを作成・掲出 ・小学生を対象とした交通バリアフリー教室を開催

(3) バスちかサポーター活動支援

事業期間中の実施予定内容	事業期間中の実施内容
高齢者や障害のある方などに、行き先の案内や手荷物の運搬、乗降の補助及び階段等での移動支援などを行う方を「バスちかサポーター」として募集し、サポーター養成研修を実施するとともに、サポーターの活動を広く知っていただくためにホームページや地下鉄・バスに掲示したポスターにて、サポーターの活動内容の広報を行うことで、交通ボランティア活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none">・バスちかサポーターの新規募集・サポーター研修の実施（新規・継続）・サポーターアンケートの実施・バスちかサポーター通信の発行・ホームページやポスター等での広報、PR強化・高校生を対象としたバリアフリー教室を実施

(4) バリアフリー情報提供活動

事業期間中の実施予定内容	事業期間中の実施内容
インターネットのホームページを活用したタイムリーな情報提供や、バリアフリー設備の設置位置等が分かるガイドブックの作成などにより、高齢者や障害のある方などに限らず、サポートしていただける市民の方などにも、地下鉄・バスのバリアフリー情報を積極的にお知らせし、ハード、ソフト両面でのバリアフリーの推進に努める。	<ul style="list-style-type: none">・地下鉄駅構内立体図により地上からホームまでの移動円滑化ルートを示すとともに、東西線を含めた各駅のバリアフリー設備の位置情報等が分かるガイドブックを作製・頒布・ホームページへバス停留所上屋・ベンチ設置及びノンステップバス導入情報を掲載・ホームページへのエレベーター、エスカレーター一点検予定及び更新・増設工事情報を掲載